（団体名）一般社団法人ReRoots
（事業名）若林区沿岸部における農業と農村コミュニティ再生事業　**ロジック・モデル**

インプット

〇ReRootsの学生スタッフ約50名

〇町内会や行政、農家、地域住民との継続した協力関係

〇資金
333万円

活動

① ReRootsファームと農村塾
学生による野菜作りから、新規就農者の輩出へ。農家と連携した農村塾づくりを進め、若手農家への世論づくりを進める。

②移動販売とCSAで販路・交流づくり
地元に根付いた販路の形成。交流や体験を行うことで、農家、住民、消費者の人と人の関係を深める。

③わらアート
地域資源である稲わらを用いたオブジェ制作と、稲わら文化の発信。住民が交流し、コミュニティの形成へ。

アウトプット

①ReRootsファームと農村塾
・若者が農家や農村に関心を持つ。
・農業後継者を輩出する。
・若者育成によって農家に意欲や元気が引き出される。
・農家指導22回、労働力支援15回実施予定。

②移動販売とCSAで販路・交流づくり
・安定的な販路の形成により、被災農家の経営を安定させる。
・地域の魅力を都市部に発信し、生産者と消費者の距離が縮まる。農家の営農意欲が引き出される。
　移動販売は週一回、CSAは計6回行い生産者10人、消費者100人が対象となる。

③わらアート
・被災者や地域に所縁のある人の交流の場となる。
・約7万人が農村に訪れ、稲わら文化を発信し、地域住民が地域資源の魅力を再発見する。
・稲わら文化を活用し、高齢者に元気と集いを生む。
・わらワークショップでは講師2名の地域住民、参加者30人が対象となる。

アウトカム

初期

〇地域の農家が地域の現状や課題を共有化し、協力して担い手育成に取り組む。

〇地域のファンを獲得。安定的な販路により、農家の経営安定に寄与する。

〇地域住民が農村・農業の魅力を外部に発信する。

〇地域の魅力を形にし、住民のやりがい・生きがいづくりに繋がる。

〇地域のイベントとして発展し、交流人口のさらなる拡大とコミュニティの場が生まれる。

中期

〇既存の農家同士の支えあい、若手農家同士の支えあいから、農作業等の共同化を進め地域の共同体が維持されていく。

〇農家、消費者が相互に支えあう関係性、地産地消の取組が促進され、農家の営農意欲が引き出される。

〇住民がやりがいや生きがいを感じて主体的に魅力を発信し、農村コミュニティが維持されていく。

〇地域の文化が継承され、地域の集いや意欲的な取り組みが生まれる。

長期

〇若者が地域に定着することで農村の担い手が生まれ、地域行事や祭りなども継承される中で、農村のコミュニティ形成に繋がる。

〇販路の確保や、新たな担い手の確保による地域農業の持続的な発展が促される。

〇農家や住民、関係団体やReRootsが協働で動き、農村コミュニティに活力が生まれる。

〇地域内外の交流と住民の主体的な魅力発信の取り組みにより、地域が活性化され、農村が存続していく。